

ユーシン

景況レポート

Number.103
(2020.1~3月期)

結城信用金庫

■ このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業229企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果のあらまし

業況は、製造業・卸売業・建設業・不動産業で改善

1月~3月期の概況

茨城県西地域の中小企業の業況判断D.I(「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標)は $\Delta 7.0$ と、2019年10~12月期(前期)の調査より2.3ポイント改善し、景況感はわずかに改善しました。

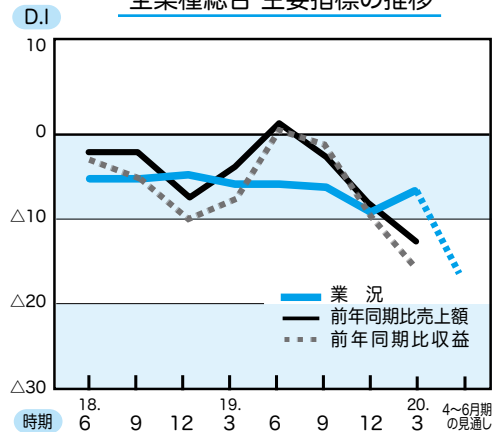
業種別では、小売業で2.8ポイント、サービス業で19.3ポイント低下しましたが、製造業で5.7ポイント、卸売業で9.1ポイント、建設業で10.6ポイント、不動産業で5.9ポイント改善しました。

項目別では、売上判断D.Iが $\Delta 2.6$ と前期比0.9ポイント改善、収益判断D.Iが0.8ポイント低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは $\Delta 12.2$ 、前期比3.4ポイント、同収益判断D.Iでも $\Delta 14.4$ 、同4.7ポイントともに低下しました。雇用面では、人手過不足D.Iが $\Delta 16.6$ と前期比0.7ポイント低下し、人手不足感が強まりました。

また、前期比残業時間D.Iにおいては同1.0ポイント改善しました。借入金の動きでは、「借入した」が前期比0.3ポイント低下し、借入難易度では、特に大きな変化は見られませんでした。経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が32.3%、「同業者間の競争激化」が28.4%、「人手不足」が23.1%と上位に挙げられました。

また、特別調査の「外国人・海外情勢と中小企業」について、「海外からの旅行者(インバウンド)の増加や、外国人労働者の受入れ拡大など、近年、日本と海外とのつながりが強まっています。そこで、近年、貴社を取り巻く事業環境や地域社会の中で、外国の方と接触する機会が増えているという実感はありますか」の質問に対し、「変わらない」との回答が75.1%と最も多く、次いで「増えている」との回答が20.1%という結果となりました。(詳しくは8~9ページに掲載しています)

全業種総合 主要指標の推移



4月~6月期の見通し

業況の見通し判断D.Iは $\Delta 16.6$ 、当期実績比9.6ポイント低下の見込

来期は、サービス業で改善を見込んでいます。項目別では、売上判断D.Iが当期実績比18.4ポイント、収益判断D.Iでも同13.1ポイントともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iにおいても同4.4ポイントの低下を見込んでいます。雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比1.3ポイント増加、また、残業時間D.Iは5.7ポイントの低下見通しとなっています。当面の重点施策でも、「経費の節減」が49.3%、「販路を広げる」が43.7%、「人材を確保する」が21.4%と上位になりました。

景況天気図

【この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました】

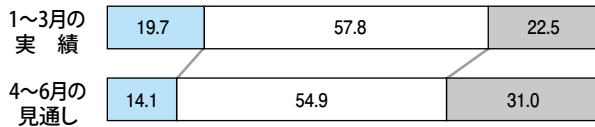
業種名	時期	時期			概要	要
		元年10月~元年12月	2年1月~2年3月	2年4~6月見通し		
総合		晴	晴	晴	業況判断D.Iは、2.3ポイント改善し $\Delta 7.0$ 。来期は、9.6ポイント低下し $\Delta 16.6$ の見通し。	
製造業		晴	晴	晴	業況判断D.Iは、5.7ポイント改善し $\Delta 2.8$ 。来期は、14.1ポイント低下し $\Delta 16.9$ の見通し。	
卸売業		雨	雨	雨	業況判断D.Iは、9.1ポイント改善し $\Delta 24.2$ 。来期は、12.2ポイント低下し $\Delta 36.4$ の見通し。	
小売業		晴	晴	晴	業況判断D.Iは、2.8ポイント低下し $\Delta 15.0$ 。来期は、7.5ポイント低下し $\Delta 22.5$ の見通し。	
サービス業		晴	雨	晴	業況判断D.Iは、19.3ポイント低下し $\Delta 22.6$ 。来期は、12.9ポイント改善し $\Delta 9.7$ の見通し。	
建設業		晴	晴	晴	業況判断D.Iは、10.6ポイント改善し19.4。来期は、22.2ポイント低下し $\Delta 2.8$ の見通し。	
不動産業		晴	晴	晴	業況判断D.Iは、5.9ポイント改善し0.0。来期は、5.6ポイント低下し $\Delta 5.6$ の見通し。	

好調 ← (晴) (雨) (曇) (霧) → 低調 / (↑) 業況改善 (↓) 業況悪化 (→) 業況変化なし

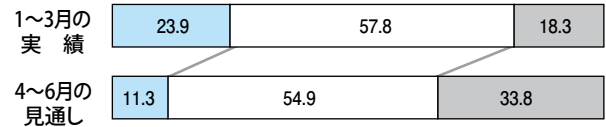
■ 製造業

回答企業数71企業(回答率98.6%)

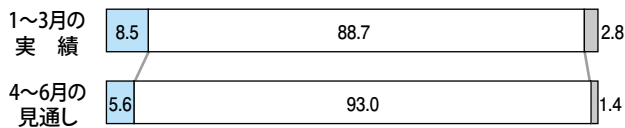
【業況】



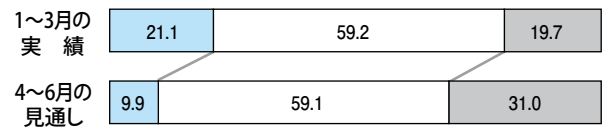
【売上額】



【原材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

1月~3月期の概況

業況判断D.Iは△2.8、前期比5.7ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが5.6と前期比8.4ポイント、収益判断D.Iでも1.4と同4.2ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△7.0、前期比2.9ポイント、同収益判断D.Iは△5.6、同2.9ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△15.5と前期比4.2ポイント低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△4.2と前期比1.4ポイント増加しました。

借入金の動きでは、「借入した」が22.5%(前期21.1%)、「予定あり」が9.9%(前期16.9%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は9.9%(前期8.5%)となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が31.0%、「人手不足」が29.6%、「同業者間の競争激化」が21.1%と上位に挙げられました。

4月~6月期の見通し

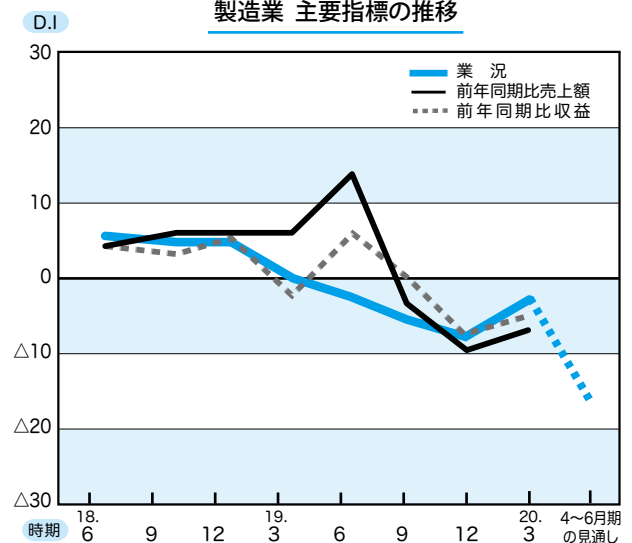
業況の見通し判断D.Iは△16.9、当期実績比14.1ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比28.1ポイント、収益判断D.Iでも同22.5ポイントともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比1.4ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比1.4ポイント増加、残業時間D.Iは同8.5ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」・「経費の節減」がそれぞれ49.3%、「人材を確保する」が28.2%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



調査員のコメントから

主取引先が減産体制をとっていることに加え、新型コロナウイルスの問題で中国製部品の調達に支障が出ており、売上減少傾向にある。

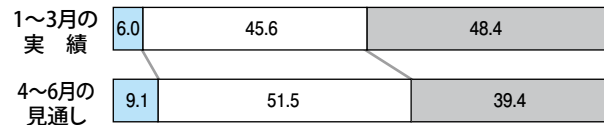
■ 卸 売 業

回答企業数33企業(回答率100%)

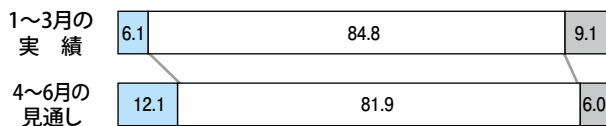
【業 況】



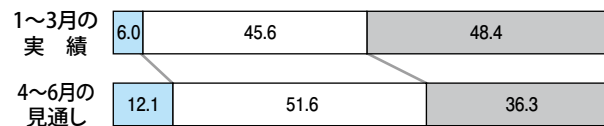
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

1月~3月期の概況

業況判断D.Iは△24.2、前期比9.1ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが△42.4と前期比27.2ポイント、収益判断D.Iでも△42.4と同24.2ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△33.3、前期比18.1ポイント、同収益判断D.Iは△36.4、同15.2ポイントともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△9.1と前期比3.0ポイント低下し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△3.0と同9.1ポイント低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が21.2% (前期18.2%)、「予定あり」が12.1% (同12.1%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は12.1% (前期12.1%)となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が36.4%、「取引先の減少」が21.2%、「同業者間の競争激化」・「利幅の縮小」がそれぞれ18.2%と上位に挙げられました。

4月~6月期の見通し

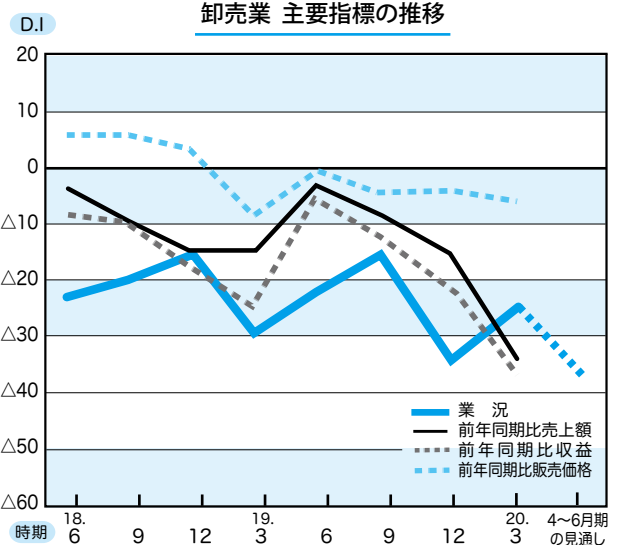
業績の見通し判断D.Iは△36.4と当期実績比12.2ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比12.1ポイント、収益判断D.Iでも同18.2ポイントともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iでも当期実績比9.1ポイントの改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比横這い、残業時間判断D.Iは同3.1ポイントの減少見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が63.6%、「経費の節減」が42.4%、「情報力の強化」が24.2%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



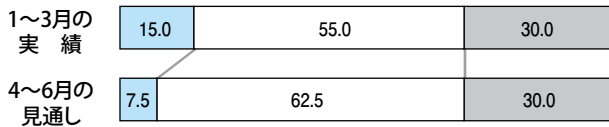
調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響によりイベント等が中止となり店頭売上げに頼る状態。前四半期に比べ売上減少となった。

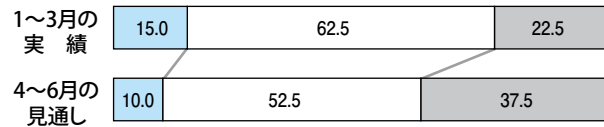
■ 小 売 業

回答企業数40企業(回答率97.6%)

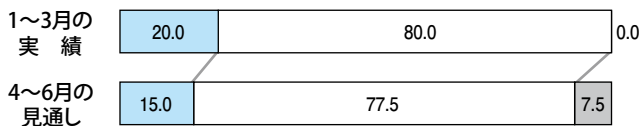
【業 況】



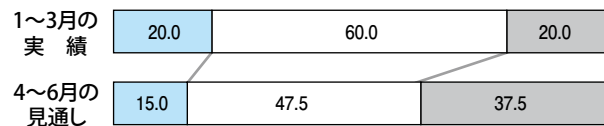
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



増加・やや増加(良い・やや良い)
 変わらず(変化無し)
 やや減少・減少(やや悪い・悪い)

1月～3月期の概況

業況判断D.Iは△15.0、前期比2.8ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△7.5と前期比9.6ポイント、収益判断D.Iでは0.0と同17.1ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△20.0、前期比6.8ポイント、同収益判断D.Iは△12.5、同11.9ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△10.0と前期比0.2ポイント低下し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△5.0と同7.2ポイント増加しました。

借入金の動きでは、「借入した」が20.0%（前期22.0%）、「予定あり」が12.5%（前期9.8%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は5.0%（前期2.4%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が42.5%、「同業者間の競争激化」が32.5%、「大型店との競争激化」が30.0%と上位に挙げられました。

4月～6月期の見通し

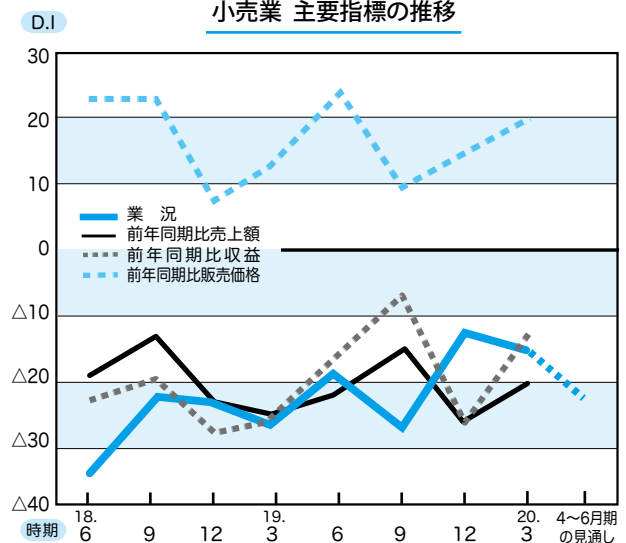
業況の見通し判断D.Iは△22.5、当期実績比7.5ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比20.0ポイント、収益判断D.Iでも同22.5ポイントともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比15.0ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比横這い、残業時間判断D.Iにおいては同2.5ポイント増加の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が60.0%、「品揃えを改善する」が27.5%、「売れ筋商品の取扱」が22.5%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



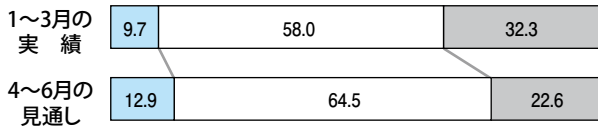
調査員のコメントから

新型コロナウイルスにより生活用品の売上増加が目立った。商品の売切れが続出し、商品棚の空きが目立つ。

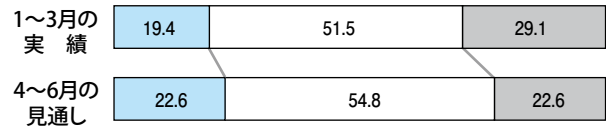
■ サービス業

回答企業数31企業(回答率100%)

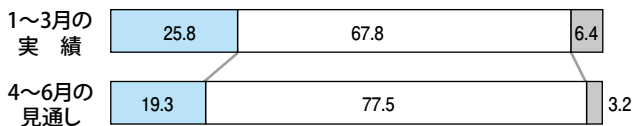
【業況】



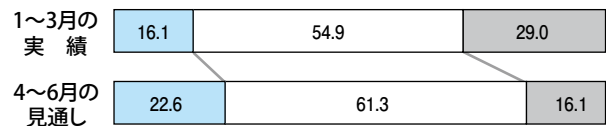
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

1月~3月期の概況

業況判断D.Iは△22.6、前期比19.3ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△9.7と前期比19.7ポイント、収益判断D.Iは△12.9と同12.9ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△22.6、前期比9.3ポイント、同収益判断D.Iでは△22.6、同9.3ポイントともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△12.9と前期比10.4ポイント改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは0.0と前期比横這いとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が19.4%（前期23.3%）、「予定あり」が16.1%（前期13.3%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は9.7%（前期16.7%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」・「同業者間の競争激化」がそれぞれ32.3%、「人手不足」が29.0%と上位に挙げられました。

4月~6月期の見通し

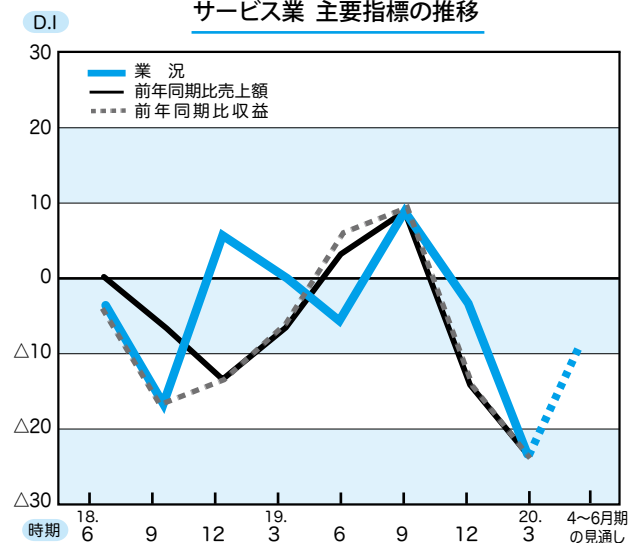
業況の見通し判断D.Iは△9.7、当期実績比12.9ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比9.7ポイント、収益判断D.Iは同19.4ポイントともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比3.3ポイントの減少を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比9.7ポイント低下、残業時間判断D.Iでは同横這いの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」・「経費の節減」がそれぞれ48.4%、「宣伝・広告の強化」が25.8%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



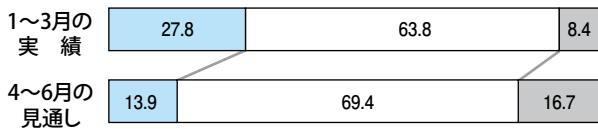
調査員のコメントから

新型コロナウイルスの感染拡大により来店客数が減少し売上もやや減少気味。販路拡大に向け努力しているが、人員確保が経営課題である。

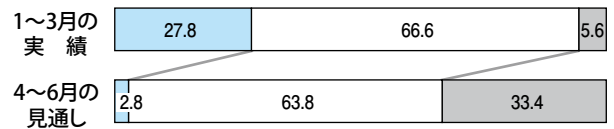
■ 建設業

回答企業数36企業(回答率100%)

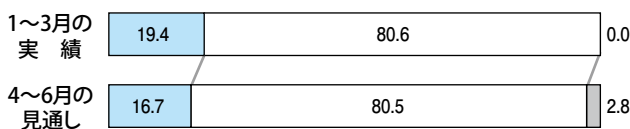
【業況】



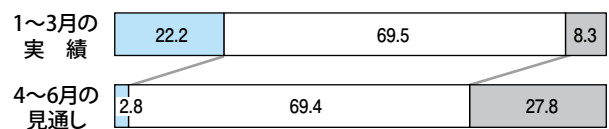
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

1月~3月期の概況

業況判断D.Iは19.4、前期比10.6ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが22.2と前期比16.3ポイント改善、受注残判断D.Iは11.1と同3.6ポイント低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは2.8、前期比11.9ポイント、同収益判断D.Iは△13.9、同22.7ポイントともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△27.8と前期比1.6ポイント増加し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは5.6と前期比0.3ポイント減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が36.1%（前期38.2%）、「予定あり」が25.0%（前期26.5%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は13.9%（前期5.9%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が44.4%、「人手不足」が30.6%、「利幅の縮小」が25.0%と上位に挙げられました。

4月~6月期の見通し

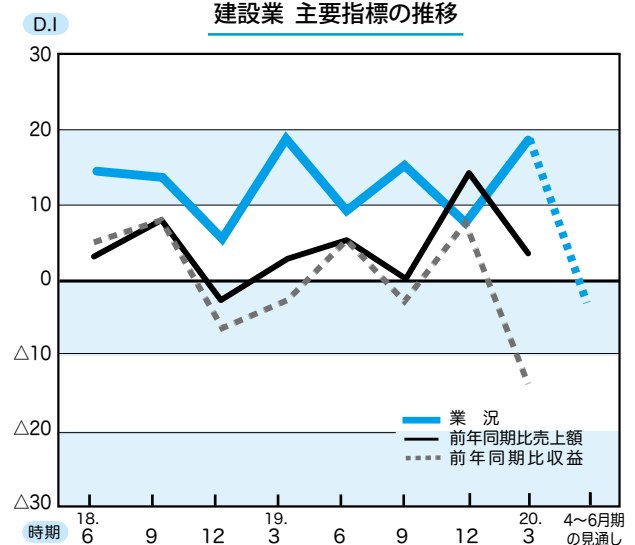
業況の見通し判断D.Iは△2.8、当期実績比22.2ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比52.8ポイント、収益判断D.Iでも同38.9ポイントともに低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比5.5ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比13.9ポイント改善、残業時間判断D.Iは同16.7ポイント減少の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が52.8%、「販路を広げる」が50.0%、「人材を確保する」が30.6%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



調査員のコメントから

工場新築など大きな仕事も受注できている。
新型コロナウイルスの影響で部品の輸入ができなくなると仕事が止まる恐れがある。

■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

【業況】

1～3月の実績	11.1	77.8	11.1
4～6月の見通し	11.1	72.2	16.7

【売上額】

1～3月の実績	22.2	66.7	11.1
4～6月の見通し	16.7	66.6	16.7

【仕入価格】

1～3月の実績	16.7	77.7	5.6
4～6月の見通し	11.2	77.6	11.2

【収益】

1～3月の実績	16.7	72.2	11.1
4～6月の見通し	5.6	77.7	16.7

■ 増加・やや増加 (良い・やや良い)
 ■ 変わらず(変化無し)
 ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

1月～3月期の概況

業況判断D.Iは0.0、前期比5.9ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが11.1と前期比5.2ポイント改善、収益判断D.Iは5.6と同6.2ポイント低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは11.1、前期比0.7ポイント、収益判断D.Iは0.0、同11.8ポイントともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△33.3と前期比3.9ポイント低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは0.0と同5.9ポイント増加しました。

借入金の動きでは、「借入した」が22.2%（前期23.5%）、「予定あり」は11.1%（前期17.6%）を示しています。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」・「人手不足」・「同業者間の競争激化」がそれぞれ27.8%と上位に挙げられました。

4月～6月期の見通し

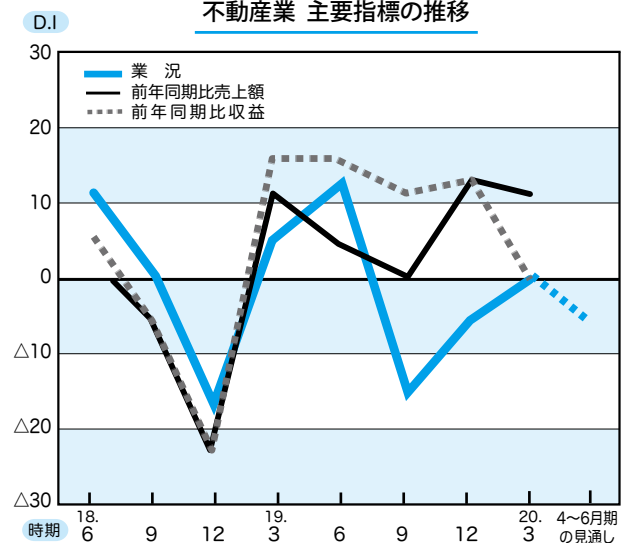
業況の見通し判断D.Iは△5.6、当期実績比5.6ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比11.1ポイント、収益判断D.Iでも同16.7ポイントともに低下を見込んでおります。また、販売価格判断D.Iは当期実績比11.1ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横這い、残業時間D.Iは同5.6ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が61.1%、「経費の節減」・「情報力の強化」がそれぞれ33.3%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



調査員のコメントから

不動産の動きは少なく、売買手数料は年々少なくなってきている。若年者から投資目的での問い合わせが多くなってきている。

特別調査

外国人・海外情勢と中小企業

「外国人・海外情勢と中小企業」について調査を実施しました。

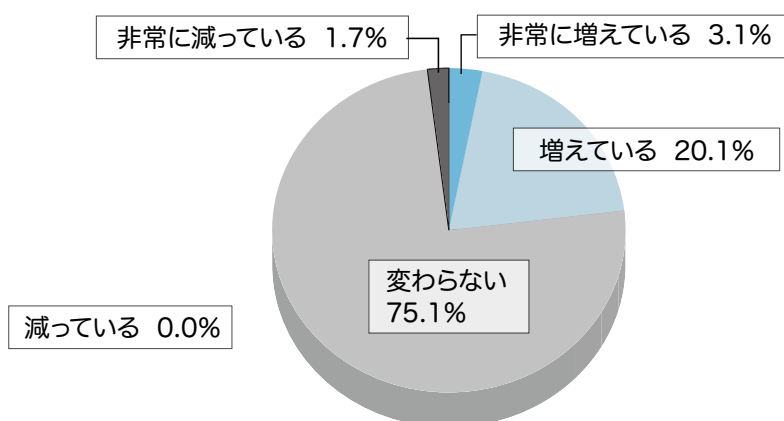
「海外からの旅行者（インバウンド）の増加や、外国人労働者の受入れ拡大など、近年、日本と海外とのつながりが強まっています。

そこで、近年、貴社を取り巻く事業環境や地域社会の中で、外国の方と接触する機会が増えているという実感はありますか」の質問に対し、「変わらない」との回答が75.1%と最も多く、次いで「増えている」との回答が20.1%という結果となりました。

そのほか、「売上全体に占める外国人（旅行者を含む。）、もしくは外国企業向けの売上げ（輸出を含む。）はどれくらいですか」を、次のように取り纏めました。

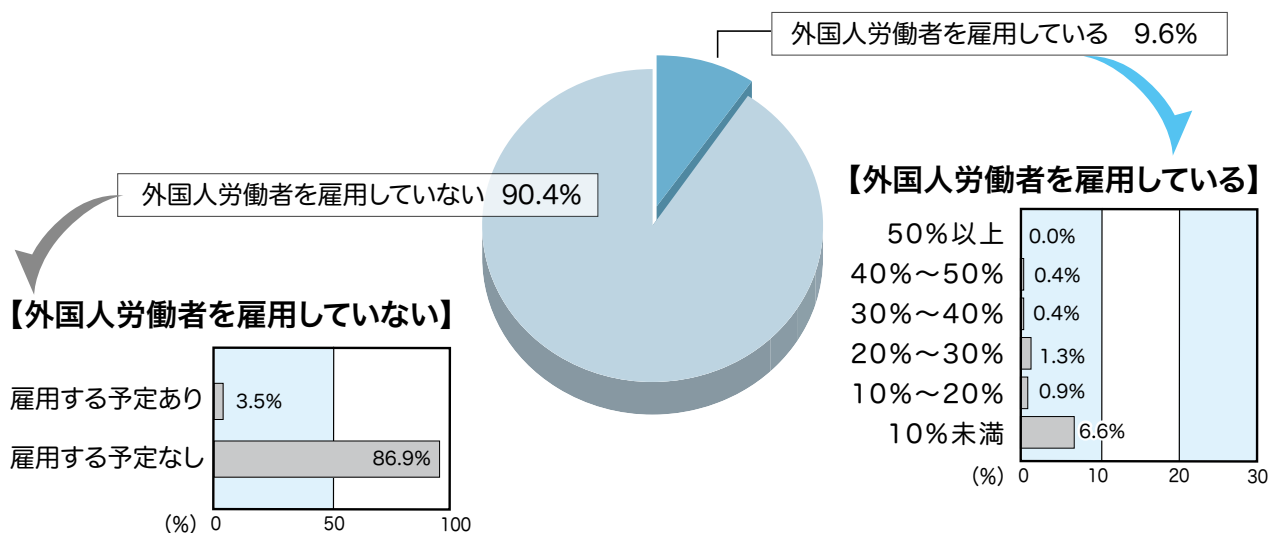
問1

海外からの旅行者（インバウンド）の増加や、外国人労働者の受入れ拡大など、近年、日本と海外とのつながりが強まっています。そこで、近年、貴社を取り巻く事業環境や地域社会の中で、外国の方と接触する機会が増えているという実感はありますか。



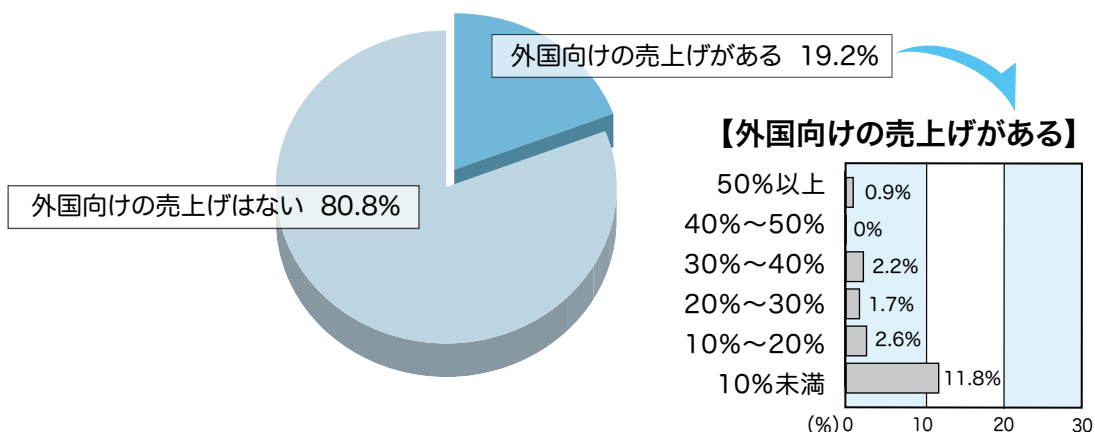
問2

貴社では、外国人労働者を雇用していますか。雇用している方は、従業員全体に占める外国人労働者の割合をお答えください。雇用していない方は、今後、外国人労働者を雇用する予定があるかお答えください。



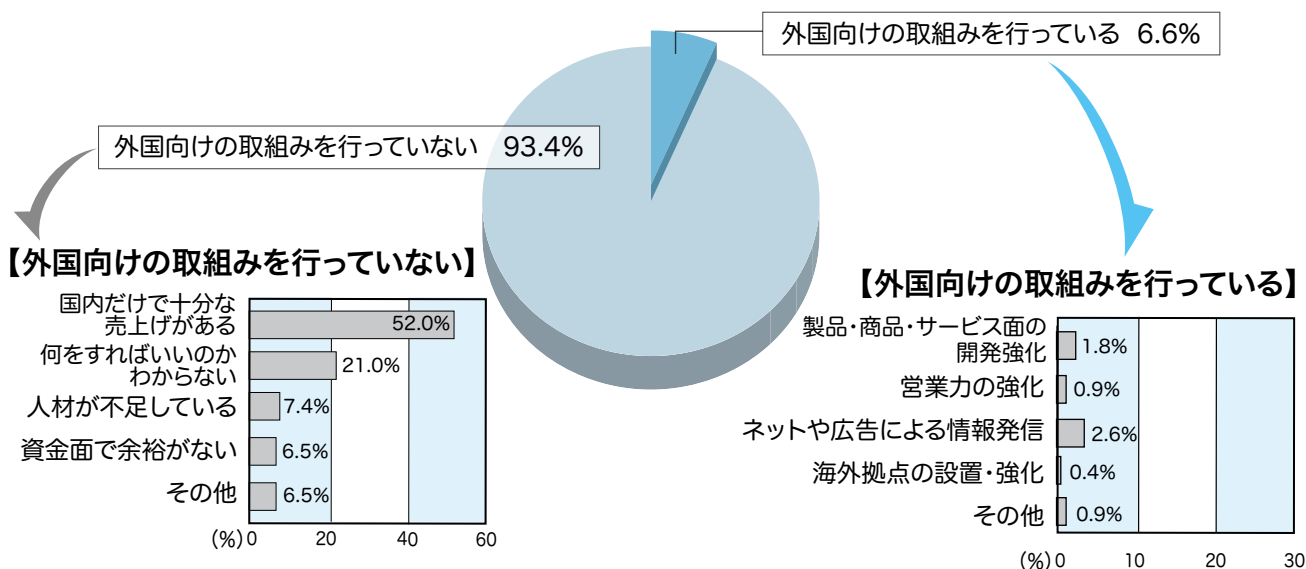
問3

貴社では、売上全体に占める外国人（旅行者を含む。）、もしくは外国企業向けの売上げ（輸出を含む。）はどれくらいですか。



問4

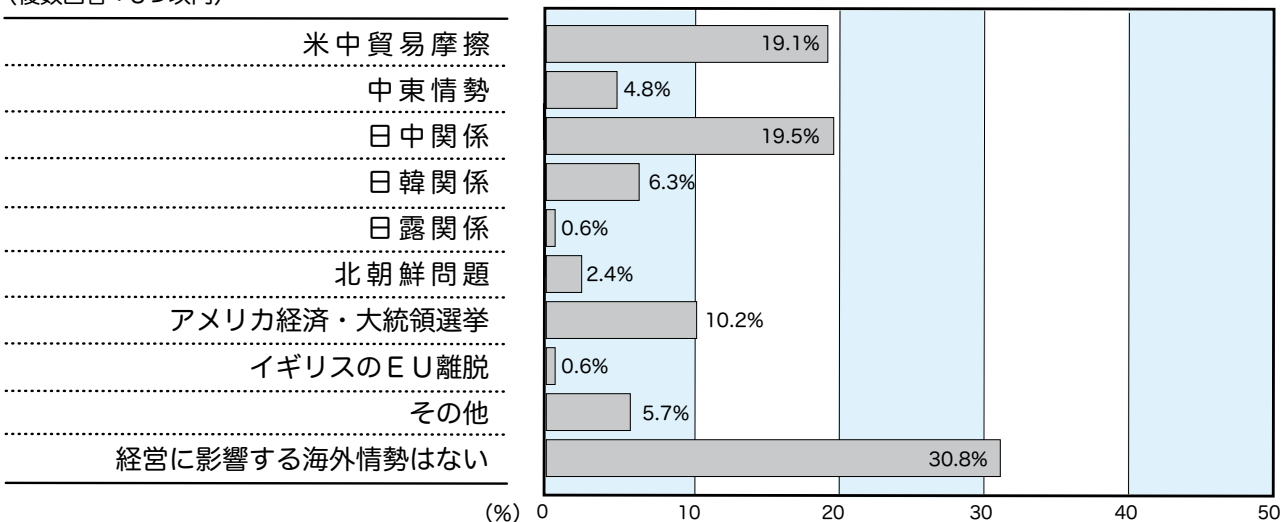
貴社では、外国向けの売上げを増加させるための取組みを行っていますか。行っている企業は、特に行っている取組みについてお答えください。行っていない企業は、行っていない理由についてお答えください。



問5

貴社では、経営上、特に注目している海外情勢はありますか。

(複数回答：3つ以内)



地域活性化融資

「上昇機運」

短期間の資金もご利用できます。

売上増加

経営安定

収益向上

宣言!

ユーシンは、中小企業の皆さんを応援し、地域の活性化をサポートします。

ご融資：
金額：最高 5,000 万円

ご融資：
期間：10 年以内

お取扱期間 令和2年4月1日(水)～令和3年3月31日(水)

※審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

詳しくはお近くの結城信用金庫までお気軽にお問い合わせ下さい。

— 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地
TEL (0296)32-2110 FAX (0296)33-0414
<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>